

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年6月9日
【四半期会計期間】	第37期第2四半期（自平成26年7月1日至平成26年9月30日）
【会社名】	株式会社サニックス
【英訳名】	SANIX INCORPORATED
【代表者の役職氏名】	取締役社長 宗政 伸一
【本店の所在の場所】	福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号
【電話番号】	092(436)8870(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役常務執行役員経営企画部長 井上 公三
【最寄りの連絡場所】	福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号
【電話番号】	092(436)8870(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役常務執行役員経営企画部長 井上 公三
【縦覧に供する場所】	株式会社サニックス環境資源開発事業本部 （東京都港区虎ノ門1丁目2番8号虎ノ門琴平タワー19階） 株式会社サニックス中京地区本部 （愛知県名古屋市西区則武新町3丁目9番4号） 株式会社サニックス関西地区本部 （大阪府大阪市淀川区西中島5丁目5番15号新大阪セントラルタワー9階） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神2丁目14番2号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成26年11月14日に提出いたしました、第37期第2四半期（自平成26年7月1日至平成26年9月30日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(3) キャッシュ・フローの状況

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第36期 第2四半期 連結累計期間	第37期 第2四半期 連結累計期間	第36期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
<省略>			
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	2,252	10,182	4,933
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	699	453	1,728
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	2,085	4,272	2,433
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	2,631	2,949	9,204

(訂正後)

回次	第36期 第2四半期 連結累計期間	第37期 第2四半期 連結累計期間	第36期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
<省略>			
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	2,252	10,182	4,933
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	1,595	328	3,271
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	2,085	4,272	2,433
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	1,742	1,416	7,645

第2【事業の状況】

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(3) キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は2,949百万円となり、前連結会計年度末に比べて6,255百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

<省略>

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、453百万円の支出（前年同期比245百万円の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出415百万円（前年同期比279百万円の減少）によるものであります。

(訂正後)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は1,416百万円となり、前連結会計年度末に比べて6,228百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

<省略>

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、328百万円の支出（前年同期比1,267百万円支出の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出415百万円（前年同期比279百万円の減少）によるものであります。

第4【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<省略>		
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	20
定期預金の預入による支出	20	20
有形固定資産の取得による支出	694	415
有形固定資産の売却による収入	15	-
投資有価証券の取得による支出	1	-
その他	2	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	699	453
<省略>		
現金及び現金同等物に係る換算差額	49	107
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	916	6,255
現金及び現金同等物の期首残高	3,547	9,204
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,631	2,949

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<省略>		
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	1,582
定期預金の預入による支出	916	1,458
有形固定資産の取得による支出	694	415
有形固定資産の売却による収入	15	-
投資有価証券の取得による支出	1	-
その他	2	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,595	328
<省略>		
現金及び現金同等物に係る換算差額	42	9
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,805	6,228
現金及び現金同等物の期首残高	3,547	7,645
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,742	1,416

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(訂正前)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	2,663百万円	2,982百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	31	33
現金及び現金同等物	2,631	2,949

(訂正後)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	2,663百万円	2,982百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	920	1,565
現金及び現金同等物	1,742	1,416